

2. 26事件公開学習会

天皇の戦争責任のゆくえ

～天皇の代替わりに際して～

現天皇が高齢による生前退位をビデオ・メッセージで放映したのが2016年8月9日。これを契機に特別法が制定され、天皇の退位が4月30日、新天皇の即位が5月1日、大嘗祭が11月14～15日と決まりました。

しかし、昨年11月22日、第2皇位継承権を持つ秋篠宮が大嘗祭公費支出に異例の疑義を呈しても、皇室内の意向などおかまいなく、かつての昭和天皇死去に伴う行事にならって、大々的に巨額の税金を投入した国家的祝賀行事が展開され、問題の本質は隠ぺいされたままに終わってしまうことにならないでしょうか。特に、肝心の天皇の名による15年戦争下の戦争責任は、敗戦によってもあいまいにされ、かえって無責任体制の中で、被侵略国との関係はますますこじれ、また遺族の心の痛手が癒えることはありません。

この代替わりの節目において、今こそ天皇の戦争責任を明確にし、内外問わず大戦に対する謝罪としかるべき対処—補償を為すことこそが先決といえるでしょう。

講師：三浦永光氏（キリスト者遺族の会会員、津田塾大学名誉教授）

日時：3月2日（土）午後2時～4時（開場午後1時半）

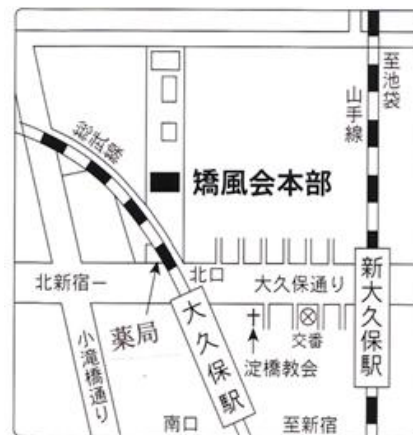
会場：日本キリスト教婦人矯風会地下集会室

東京都新宿区百人町2丁目23-5

JR「大久保駅」徒歩1分

参加費：500円

どなたでもご参加ください



共催：キリスト者遺族の会・日本キリスト教婦人矯風会

連絡先：080-5412-9386(坂内)